

三保のあの頃 よもやま話(5)

三保小学校

桜の便りが届くころ、小学校では卒業式そして入学式が行われた。そんな光景を眺めながら、ふと在学当時を懐かしく思い出した。と言っても今の小学校には昔の面影は殆どないが、ただレンガ造りの重厚な正門がそのまま残っている事はとても嬉しい。

その門を潜ると正面に木造2階建ての校舎があった。そこには誰もが一番記憶に残っている斜面階段があった。

途中に踊り場を挟んでスロープ状の斜面が2階まで続いている。まるで木製すべり台の様で、走ったり滑ったりして遊んだものだった。時には床にガリ版用のロウ原紙を塗り込み、滑りを良くして先生に大目玉を喰らったりした事もあった。



今も残る正門

夏休みになると運動場で野外映画会が行われた。西側校舎の2階から大きな白布をたらし、そこに映画を映したのである。残念ながら何を放映したのかは忘れてしまったが、みんな夜になるのが待ち遠しく、早々と集まってきて場所取りをした。これも楽しい思い出である。

小学校から五中にかけての道の両側には、幾本もの桜の木が植えられていた。これは和田並木と呼ばれ、晩年三保に居を構えた巨匠和田英作画伯が寄贈した街路樹だった。夏はこの木陰で涼む人達もいたが、昭和40年頃だろうか道路の舗装拡張工事のため総て伐採されてしまった。時世柄とはいえども残念な出来事であった。



昭和 36 年三保小航空写真

三保一小的前身は明治 8 年(1875)に設立した『美穂舎(びすいしゃ)』で、本村の妙福寺を借りて授業を始めた。数年後に観音堂を改築して移転、その後『三保尋常小学校』と校名が変更され、明治 25 年(1892)に現在の地へ新築移転した。

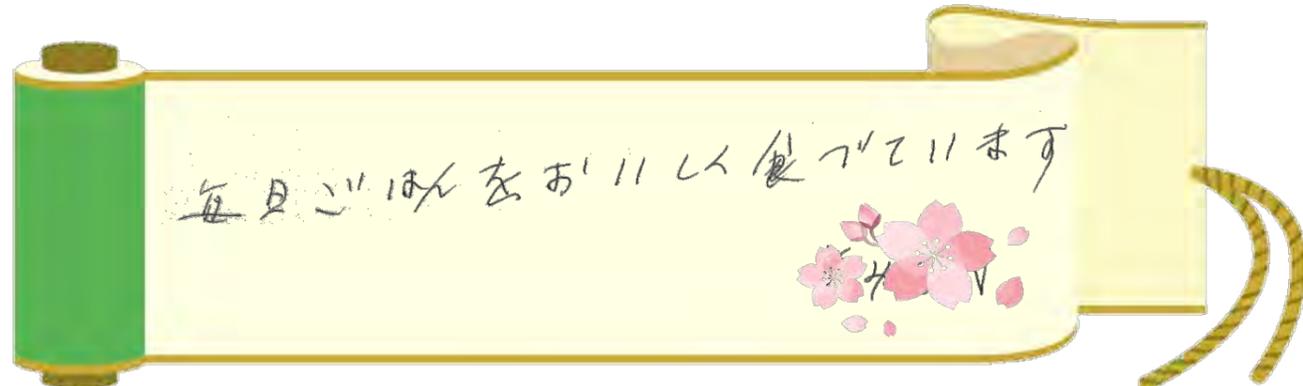
戦後の昭和 22 年(1947)には『三保小学校』と改名し、そして昭和 45 年(1970)に児童数増加のため2校に分かれ『三保第一小学校』となった。

寺子屋から始まって以来、多くの子供たちを育ててきた小学校も、来年の令和 7 年(2025)年には創立 150 周年を迎える。これからの子供たちも新たな楽しい思い出を刻んでいく事だろう。

北村昭夫 (三保在住 富士山世界遺産ガイド)

小規模多機能ホームご利用

S 様(84 歳)のお言葉 「毎日ごはんをおいしく食べています」



そな〜れ通信

『認知症を知る』講習会開催

3/12・4/16 2回シリーズ

in 三保生涯学習交流館

介護報酬改定に伴い煩雑な業務に追われながら2024年度はスタート。

今年の桜はいつもよりゆっくり咲き始め、そして私達の心をとくめかせ、急かされるように舞い散っていきました。桜を見上げる度に、思い浮かぶ顔…今年もまた「頑張ろう」と勇気を頂きました。



「認知症の人を皆で支える地域づくり」を目指して、講師にNPO法人WAC清水さわやかサービス理事長:松本利枝氏をお迎えし、後悔しない為に「認知症を知る」という講習会を2回シリーズで開催しました。



3/12『認知症の人の気持ちを知らう』

参加者に認知症本人とご家族双方の役を演じて頂き、どのような気持ちになるか疑似体験を通じて「認知症本人の気持ちを体感し、どのように対応してほしいか」を確認し合いました。誰よりも不安で苦しんでいるのは本人。理解力は落ちて感情は繊細。介護者の関わり方やストレスが症状を悪化させることを学びました。



4/16『介護者の気持ちを知らう』

講師の松本様との対談形式で、若年性認知症の妻の介護をされているご主人に、介護者の率直な思いを語って頂きました。「WACの家族会で悩みを吐き出せる所があるから自分は大丈夫。思いを伝えられない本人が一番辛いと思う。やりたい事をやらせてあげたい」と。



認知症ケアの経過

戸惑い・否定⇒混乱・怒り・拒絶⇒割り切り or 諦め⇒理解・受容

を乗り越えてきたから発せられる言葉だと思いました。

最後に「二人きりで旅行に行きたいと思う」と笑顔で仰っている姿に胸が熱くなりました。後半では「誰もが安心して認知症になれる地域づくり」についてグループワークで意見交換。「介護に終わりはない。一人で悩んでも楽にならない。いつでもSOSを出せるように心を開かなければ伝えられない」「近所の方々を知る為に、自治会の活動に参加する」「子ども達を巻き込むには、まず、大人たちが姿勢を示す必要がある。福祉施設との交流・授業で取り上げる・認知症に関する映画などで興味を深める」等貴重な意見が聞かれました。講習会後のアンケートで「今後の活動へのご協力について」の質問に対し、殆どの方々が協力に同意の記名をして下さり、「この会を継続していくことが大切です」「こういう輪が広がっていくといいですね」等前向きなご意見が多く、大変心強く感謝しております。

この講習会で出会ったお一人お一人の尊い力を繋ぎ合わせ、「誰もが安心して認知症になれる地域づくり」の為、知恵を出し合い、子ども達も巻き込んで、できる事から一歩ずつ取り組んでいきたいと思ひます。今後ともお力添え宜しくお願い致します。

令和6年4月号 第96号
★デイサービスそな〜れ
〒424-0901
静岡市清水区三保 1800-1
TEL 054-335-0400

★小規模多機能ホームそな〜れ
★グループホームそな〜れ
★居宅支援事業所そな〜れ
〒424-0901
静岡市清水区三保 1598-14
TEL 054-335-0376
FAX 054-335-0506
Email npo.sona-re@za.tnc.ne.jp
URL https://sona-re.net
X @sona_re

ほっとアルバム



デイサービス お花見

今年も桜を見に様々な所へ
出かけてきました。
日本平スタジアム・大沢川・
鉄舟寺・袖師スポーツ公園・・・
どこの桜もきれいでしたね。
「今年も見られて良かった」
また来年もみんな揃って
見に行きましょうね。



小規模多機能 春の運動会

小規模フロアにて運動会を
行いました。黄・青チームに
分かれ「玉入れ」に
「魚釣り」そして
「パン食い競争」!
「頑張れ〜!」
両チームの応援にも力が入ります。
いつもより体の動きが良く見えたの
は私だけでしょうか?
秋の運動会も
お楽しみに♪



地域交流事業 いこっか食堂

今月のメニューは
『ホットドック』
「カフェに来たみたい」
「ディズニーランドに
来たみたい」と
アメリカなメニューは大人気でした。
毎月不定期に開催しています。
誰でも、当日参加も
OKです!



グループホーム 食欲の春

3月の昼食レクは
「ちらし寿司」と
「つくねの照り焼き」
お彼岸には「ぼたもち」
おやつで焼いた
「ホットケーキ」
たくさん
食べました☆



小規模多機能 お花見ドライブ

桜の名所である有名な
大沢川のほとりの桜見物
ドライブに出かけました。
ちょうど満開の桜や
散り始めた景色を見て
「きれいね〜」
「見ることができて良かった」
満開の桜をバックに桜に負け
ないくらいの笑顔を送ら
せていただきました。



グループホーム 坊主めくり

百人一首を使って
いざ勝負!!
「昔よくやったよ」
「どうやったっけ」と
昔を思い出しながら
盛り上がりました。
さて、誰が勝ったの
かしら?



デイサービス 花より団子

きれいな桜も良いですが
やはりこちらでしょうか
ぼたもち・
手作りジャムのホットケーキ
出先で食べたお饅頭に
みかんジュース・・・
美味しいものを食べて
笑顔の花が咲きました♪



グループホーム 癒されタイム

「ルルちゃん」という
可愛いわんちゃんが
遊びに来てくれました!!
皆さんドキドキしながら
小さい体を優しく
抱っこされていました。



地域交流事業 三保一小戦争体験授業

戦争中、10歳で
長崎にお住まいだった
ご利用者さんに戦争体験を
お話しして頂きました。
子供達は真剣な表情で
たくさんの質問もしてくれ
ました。
この活動はこれからも
続けていきたいです。



グループホーム タラッタッタッタ〜♪

4月の昼食レクは
『マクドナルド』
ハンバーガーやポテトを
選んでいただきました。
ん〜良い匂い!!

